

## 福山市生産性向上設備等導入支援事業補助金交付申請書

記入例

申請日		2024年3月〇日			
福山市長 様					
申請者情報	法人は本社・本店所在地、個人は住民票の住所を記入してください。(住所の番地等はハイフンで記入してください。)				
所在地	〒 720-8501				
	福山市東桜町3番5号				
会社名・屋号	(フリガナ)	カブシキガイシャフクヤマ			
		株式会社ふくやま			
主たる業種	<input type="checkbox"/> A 農業、林業	<input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業	<input type="checkbox"/> K 不動産業、物品賃貸業	<input type="checkbox"/> P 医療、福祉	
	<input type="checkbox"/> B 漁業	<input type="checkbox"/> G 情報通信業	<input type="checkbox"/> L 学術研究、専門・技術サービス業	<input type="checkbox"/> Q 複合サービス業	
	<input type="checkbox"/> C 鉱業、採石業、砂利採取業	<input type="checkbox"/> H 運輸業、郵便業	<input type="checkbox"/> M 宿泊業、飲食サービス業	<input type="checkbox"/> R サービス業(他に分類されないもの)	
	<input type="checkbox"/> D 建設業	<input type="checkbox"/> I 卸売業・小売業	<input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業、娯楽業	<input type="checkbox"/> S 公務(他に分類されるものを除く)	
	<input checked="" type="checkbox"/> E 製造業	<input type="checkbox"/> J 金融業・保険業	<input type="checkbox"/> O 教育、学習支援業	<input type="checkbox"/> T 分類不能の産業	
代表者名	(フリガナ)	ダイヒョウトリシマリヤク フクヤマ タロウ			
		代表取締役 福山 太郎	生年月日 (個人事業者のみ)		
資本金 (法人のみ)	30,000,000	円	雇用する 従業員数	30	人
担当者名	(フリガナ)	フクヤマ ハナコ			
		福山 花子			
連絡先	084-xxxx-xxxx	メールアドレス	*****@*****		
携帯電話 (日中連絡が つく番号)	090-xxxx-xxxx	FAX番号			
福山市生産性向上設備等導入支援事業補助金交付要綱第7条の規定により、次のとおり補助金の交付について申請します。					
事業費	701,500	円 (税抜)	補助金申請額	467,000	円
事業 実施場所	広島県福山市	〇〇町〇丁目〇番〇号	実施店舗や事務所、工場の住所をご記入ください		
事業概要 (本補助金を活用して実施する事業の概要を記載してください)					
(例1) 〇〇の業務について現在外注しているが、〇〇機器を購入し、自社で行うことによって、外注費の削減と生産ノウハウの構築を行う					
(例2) 検品業務の効率化のため、〇〇センサー及び専用ソフトを導入する					
(例3) 資料作成を効率化し、商談をスムーズに進めるため〇〇ソフトを導入する					
開始予定年月日	2024年4月〇日				
完成予定年月日	2024年12月〇日				
添付書類	1 事業計画書 2 収支予算書 3 事業の開始日等を確認できる書類 4 見積書等(写し) 5 誓約書 6 その他市長が必要と認めた書類( )				

※補助金申請額については、補助対象経費の3分の2以内(千円未満は切り捨てとする。)とし、上限を60万円とする。

## 事業計画書

記入例

補助対象事業の区分（主に該当する事業の口に✓を入れてください(複数選択可)）

- ア 機械・装置等の導入
- イ 専用ソフトウェア・情報システム等の導入
- ウ IT機器等(各種センサー類など)の導入
- エ その他設備等の導入

次の各項目について、内容を記載してください。（※行については、必要に応じて拡大して記載してください。）

## &lt;現状&gt;

〇〇業を営んでいるが、物価高騰の影響により、△△の影響が出ている。

## &lt;課題&gt;

(例1) 〇〇の業務について現在外注しているが、人件費の高騰により年々外注費が増額しており、経営を圧迫している。

(例2) 検品業務を担う人員の不足。

・現状、旧式のセンサーにより検品を行っており、目視による確認も必要であるため、非効率であるうえにミスが多発している。

(例3) 商談において、顧客の要望を一度持ち帰って図面に落とし込んでおり、資料作成に時間を要している。

## &lt;取組&gt;

(例1) 〇〇機器を導入し、外注費の削減を図る。また、自社の中に生産ノウハウを構築し、社員のスキルアップによる生産性向上を図る。

(例2) 〇〇センサーと専用ソフトを導入し、検品作業の効率化と品質向上を図る。

(例3) 〇〇ソフトを導入し、その場で3D図面を作成して資料に落とし込み、提案を行う。

## &lt;効率化等の効果&gt;

※補助事業を実施することによってどのような効果が得られるか客観的に判断できるよう、現在と事業実施後の状況について、数値等の指標を用いて記載してください。

## ○実施前(現状)

(例1) 〇〇業務の外注に、年間で〇〇円×〇〇回=〇〇円かかっている状況。

(例2) 検品作業に〇時間/人・日を要している。

(例3) 提案資料の作成に〇時間/人・日を要している。また、後日の商談になると再度顧客のアポイントを取るところからとなり、先方への提案に数日を要することがある。

## ○実施後

(例1) 機器の導入以降の外注コストを100%削減できる。

※導入コストについては〇年で回収できる見込み。

(例2) 〇時間/人・日に短縮できる見込み。

(例3) ソフトの導入により〇時間/人・日に短縮可能。営業担当者が〇人いるため、部門全体で〇時間×〇人=合計〇〇時間の作業時間短縮が見込める。